

## 第 5 回 生駒市地域公共交通活性化協議会を受けた今後の検討課題

協議会の発言要旨	対応方針
<b>■アンケート分析</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>近大病院は目的を持って行く病院であるが、その他の病院については、通院時の移動手段が限られているため行きたい病院に行く事が出来ないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査からは、普段よく行く通院先として、自宅近くの医療機関と総合病院を挙げている人が多い。</li> <li>その中で、近大病院は市内の全域で通院先に挙げる人が多い。</li> <li>ただ、アンケート調査から行きたい病院に行けているかどうかまで判断することは難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動は潜在需要があると考えられるため、公共施設に関する分析をする必要がある。</li> <li>マイカー族と公共交通族のそれぞれの活動の目的、行先を分析し、公共施設に行きにくいから行っていないということが起こっているかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通計画を検討する地区の計画案を策定するに当たり、出勤・登校や買い物・通勤目的の他、その他私用目的（習い事や観光など）トリップを含めて分析をする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用交通環境別の外出率をさらに年齢別、地区別にも分析できないか。マイカー族と公共交通族で外出率に差があれば、公共交通が制約になっていることも考えられ、その地区は重点的に公共交通を整備していくという考え方もある。外出率を図で表現すると分かりやすいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外出率については、年齢別、地区別にも分析をする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用交通手段構成を地区別に分析できないか。やむを得ず車を運転している方が多い地区がつかめるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通計画を検討する地区の計画案を策定するに当たり、目的別の代表交通手段を分析する。</li> </ul>
<b>■連携計画策定に関して考慮すべき項目</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通計画を検討する地区の抽出基準は再検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 32 年までに 75 歳以上人口比率が 20%を超える地区で、かつ駅やバス停までの距離が長い、または地形の急峻な地区を公共交通計画を検討する地区として抽出する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスと負担についてメニューを作成する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が負担する運賃が運行費用を下回る場合は、運行費用の一定割合までを生駒市が負担することとし、それでも不足する場合は運賃を引き上げる（利用者がさらなる負担をする）か、沿線自治会が負担するという仕組みを考える。そのどちらを選ぶか、または利用者の負担や地域の負担は増やさずに公共交通サービスを引き下げれば、地域が選ぶようにする。</li> <li>路線評価基準を明確にし、評価基準に満たない路線は、経費の削減（運行回数縮減など）や路線を廃止するルールを設定する。</li> <li>文化活動などの私用目的トリップにも対応できる交通体系（運行時間帯やバス停配置など）を検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動は潜在需要があると考えられる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>乗合タクシーの仕組みづくりを計画に反映してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区別の計画案を策定するに当たり、公共交通の需要や道路整備状況などを勘案し、導入する公共交通手段を決定する。その際、乗合タクシーの導入が望ましいと考えられる地区については、その導入について提案する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>商工（配達サービス等）や福祉面（介護タクシー等）等との協調策を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットスーパーや民間事業者による商品の宅配サービスが広がりをみせていることから、それらサービスの生駒市における 5 年後、10 年後の動向を注視し、必要に応じて連携を検討する旨を連携計画に記載する。（協調策の方向性を示す）</li> <li>生駒市では、福祉有償運送について、奈良市・大和郡山市と三市で北和地区福祉有償運送共同運営協議会を設置し、必要性や事業者の登録などについて協議を行うこととしている。今後、本協議会と連携し、実証運行を通じて公共交通と福祉輸送の利用者の利便性や負担を検証しながら、総合的に検討する必要がある旨を連携計画に記載する。（協調策の方向性を示す）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>警察による免許返納施策と公共交通施策は協調して進めることができるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車を含めた望ましい交通体系を構築するという観点から、警察との連携を含めた総合的な施策が必要である旨を連携計画に記載する。（協調策の方向性を示す）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実情は地域によって異なるので、自治会等へヒアリングを実施してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定の途上で、地域の意見を聞く機会があれば地域の意見を反映させたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒市の地形を勘案すると、電動アシスト自転車の導入が考えられる。</li> <li>生駒駅前等でレンタサイクルシステムの導入が考えられる。</li> <li>自転車利用環境整備を考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車を含めた望ましい交通体系を構築するという観点から、駐輪場の整備などまちづくりを含めた総合的な施策が必要である旨を連携計画に記載する。（協調策の方向性を示す）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の足は自分で確保するという視点を目標設定に反映する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携計画の中で、市民、事業者、行政の各主体の役割分担を整理し、地域の公共交通は各主体の協働が必要であり、市民は「地域の移動は地域で支える」役割を担っており、行政は計画策定の支援をするということを明記する。</li> </ul>
<b>■その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生駒市の介護タクシーに係わる介護保険制度の実情を整理してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部局からの資料を整理する。</li> </ul>